

## 令和4年6月定例会 代表質問 川田 裕議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。(各議員からの「質問」(問)に該当する部分を黄色マーキングしております。)

### 「犬猫等の理由なき殺処分ゼロに対する香芝市の基本方針について」

○川田 裕 犬猫等の理由なき殺処分に対する香芝市の基本姿勢は、明確でなく、今までよく分かりません。近隣府県でも、大阪市が理由なき殺処分ゼロを目指して行動計画などを策定して、奈良市においても殺処分ゼロを達成したと公表がなされております。保健所を管轄する政令市や中核市とは異なりますが、この香芝市における犬や猫等の殺処分に対する方針、それをまずお聞きしたいと思います。

また、公表について、いろいろホームページとか行政文書を探しましたが、そういったものが見当たりません。基本方針をお示しいただきたいと思います。

○市民環境部長 お尋ねの殺処分ゼロに向けた本市の基本的な考え方をまずは述べさせていただきます。

奈良県におきまして、動物愛護管理法、また国による動物の愛護、管理に関する施策の基本的な指針というものを定められておりますけれども、それに基づいて奈良県のほうも動物愛護管理推進計画というものを策定されております。この計画にも殺処分数削減を目指すとありますので、市としまして協働する考えの下、犬の登録の実施率の向上をはじめ、広報紙を用いた終生飼育といった所有者への社会的責任の啓発であったり、地域住民への理解促進といったところに努めているところでございます。お尋ねの指針というような形づくった計画というものは、策定は現状ございません。

○川田 裕 方針はそういったものを目指す方針であるということですね。ただ、行政なんで、文書、文書方針でやってるじゃないですか、その指針等をつくっていただきたい。担当によって言うことが変わったりとか、そういったことをされれば分からないわけですよ、市民からすれば。だから、それは今後早急にそういった指針等をつくっていただきたいと思うんですが、いかがですか。

○市民環境部長 どのような形にするかも含めまして取組方針、指針といったようなものを策定する方向で前向きには検討させていただきたいと思います。

○川田 裕 ボランティアさんとかのお話を聞く限り、過去にも動物の無料不妊手術チケット、行政枠とかがあるわけですが、こういったものを手続のことでお聞かれに行かれないと、しかし香芝市はそんなものはやってないんだとけんもほろろに帰されたということで、非常に感情も高まるような出来事を聞きました。ところが、今部長の説明もあったように、基本方針はもともと殺処分ゼロを目指すんだと、そういったものも取り組むんだという方針は、これ、今までの、ここ最近の調査でも明らかになってるわけです。ということは、そ

れ、行政職員が勝手に市の方針を決めて勝手にそういったことはしないんだと、こういうことをおっしゃってるということで受け取らざるを得ないわけです。これ、香芝市というのはそういうところなんですか。職員の感情によって、自分の好き嫌いで勝手に行政が本来やらなければいけない責務を放棄して、これ、職務怠慢じゃないんですかね、いかがですか。

○市民環境部長 今おっしゃいました市民活動団体さん、ボランティア団体さん、ちょっと説明不足もあったかと思うんですけど、不快な思いをされたことにつきましては申し訳なく思っています。

#### 「ファシリティーマネジメントの他の計画等の整合性について」

○川田 裕 これは3月に聞きましたものとよく似てるんですけども、その後いろんな調査事項によっていろんなものが発覚してまいりました。前回のその回答の中では、財政局でしたかね、からも3分の1程度しか今の現状の計画であればできないんだと、このような答弁もいただきました。それから考えたら、これ、いろんな策をいろいろ考えながらやっていかないと、これ、履行できないわけじゃですか、進めることができないわけでしょう、だから今調査をかなり高度に上げて今やってるわけですけども。ところが、学校長寿命化計画が、これはもう実質破綻したということから考えますと、その後のファシリティーマネジメントの中、というのはこれ、前回の部長の答弁では、総務部長の答弁ではその都度上がってきたものでそのとき見直しを行うということでしたが、よくよく考えてみれば、全体的な構想として考えていかなければ、じゃあどんなものを学校、教育委員会が決めていってもいいのかというものも出てきますので、そのあたりも含めてファシリティーマネジメントのこの見直しを行おうとされてるのかどうか、その点についてお聞かせください。

○総務部長 今後の本市の財政におきまして大きなインパクトになるのが高齢化に起因する社会保障関係費用及び箱物、インフラの更新費用であると考えてございます。公共施設等総合管理計画には、何の施策も取らずに現状の公共施設を全て維持した場合には、近年の投資的経費を勘案すると、議員ご指摘のとおり 35%程度しか維持管理できないとした試算結果がございまして、したがって、各個別計画におきましては、総合管理計画に定められましたハコモノ三原則並びにインフラ三原則、これを厳格に遵守していく必要があると考えてございます。総合管理計画は言わば総論、個別施設計画は各論に当たるというふうに私は思っております。総論と各論の有機的連携が不可欠でございまして、これがない場合については計画は絵に描いた餅になってしまうのではないかなというふうに思っております。その意味で、ただいまご指摘いただきましたことも十分勘案しまして、今後教育委員会とも十分に調整を図りまして、必要な時期に遅滞なく必要な見直し、これを実施していきたいと思っております。

○川田 裕 それは真つ当な意見なんですけども、ただ現実、悲しいかな、今までそういった答弁等はあったと思うんですけども、しかしそれ、現実にはなされていなかったというのが現実なんです。それ、どこに問題があるのかなって大分考えましたけど、やはり縦割り

行政、これによってやはり連携が全くなくて、じゃあそれが、何が生まれるかっていうと、総合性のなさが生まれてくるわけですね。全体的な、机上の計算上でも、まず計算で合うようなものの中から考えていかずに、自分ところは、自分の部署としてはこうしたいんだと、私のところはこうなんだと、そんなんをやってても無駄なだけでありまして、**将来このまま進んで修正を今の時点でしなければ、このままいってたら破綻してしまう**わけですよ。それが目に見えて非常に大きな重要事項にもなるとるわけですから、ここは、教育委員会からは今年度に白紙、いわゆる青写真をしっかりつくるというご答弁をいただいておりますが、それと併せて全ての財産の活用も考えた上でそういったものをつくり直していくということをやっ  
ていかなければいけないと、僕はもう結論に達してます。でないと、どのように考えても計算が合いません。だから、その点についてそういった方向で**今後香芝市も進めていっていただけ**るのかどうか、それをご答弁お願いします。

○**総務部長** 今議員のほうからもありましたように私も思うところですが、縦割りの行政、これが非常に弊害になっておるのかなという気はします。アメリカのピーター・ドラッカー博士の中にはいかに優れた部分最適も全体最適には勝たないという言葉もございますし、とにかく縦割りの弊害を除去した中で、全体を見回した中で考えていくことが必要なのかなと。その意味でも、先ほど申しましたように、とにかく今の現状のまま何もしなければとても維持できませんから、総合計画に書いてあることは必ず厳守しながら、またその場その場で何ができるのかなとすることを考えて現実的な、実現可能な計画にしていきたい、このように考えます。

○**川田 裕** 高山台の幼稚園用地また小学校用地のこの保有目的について、これは教育長にお聞きしたいと思います。

○**教育長** 学校の老朽化等による移転等に対応するために現在保有しております。

○**川田 裕** 今現在**関屋小学校**なんかも含めまして視察も行ってるわけですが、あれ、ちょうど奈良高校と同じ時期に建った建物なんですよ。見てきました。全く奈良高校とよく似ています。長期間、**中・長期も使えないような今現在校舎状態**ですよ。そして、この間も答弁がありましたが、あの場所は建て替えに適切ではないという場所であるということで、それは昔から分かってたわけですが、それが今回そういった状態で、本当にこれ、早くしてあげないと、子供たちの生命そして身体保護を考えた場合、今地震がないからいいんですけど、もし来た場合、これ、業務上過失致死に問われるような内容だと思います。それだけに早急にそこは手を打っていただかなければいけないんですけど、ここは部長の答弁でも結構ですが、高山台のほうの青写真を今年度中につくるという前回の教育長の答弁も含めまして、その中にそういった計画、**高山台に小学校を建てる**ということを計画に組み込んでいく必要は間違いなくあると思うんですが、その答弁をお願いします。

○**教育部長** 今教育長のご答弁にもありました学校用地ということもございましたんで、移転するに当たってその場所を使って将来の小中一貫校も可能なようなことも考えて移転すればいいのかなと、そのような計画に組み込んでいければと考えております。

○川田 裕 合理的な詳細の検討事項っていうのが、今までいろいろ探したんですが、検討がやられてたとか、そういった詳細なものがないんですよ、これは教育委員会だけじゃなくて市全体でね。ないんですよ。なぜないのかなと、意味不明なんです、これだけ重要な問題、そして香芝市の将来が決まってくるっていうような分水嶺の中でなぜそういった詳細な検討事項が一切行われてなかったのかということが全く意味不明であります。

そこで、お聞きします。

これ、香芝市のこういった問題の今非常に重要事項だと思いますんで、先ほど総務部長からも意見がありました、これはプロジェクトチーム等をつくってやらないと、縦割り行政の今の中の弊害から考えましたら絶対進まない、一部は進むけども一部が停滞する、結局総合的にはできないなというような結果になりかねませんので、ぜひともこれ、重要課題でありますので、プロジェクトチームをつくって設置していただきたいんですよ。そこで進めたいと、このように考えるわけですが、これは企画部長ですかね、その考えについてご答弁をお願いします。

○企画部長 まず、早急にということが課題であるということでございます。課題解決に向けて、部門横断的にこういった仕組みづくりについては強力に進めていく必要がございますので、プロジェクトチームを組織できればというふうに考えてございます。

#### 「関屋小学校のトイレ改修等について」

○川田 裕 まず1番、この関屋小学校の、これ、前回の3月議会でもご指摘しましたが、約13億円ほどかけてああいう長期的に使えない校舎を大規模改修するんだと、これは正直間違いであると、場所的にも不適切であるということから申し上げて、その計画は頓挫したわけですが、ところが関屋小学校のトイレだけを考えてみた場合、この間も見てきましたけれども、非常に劣悪な、掃除されてるんで衛生的なもんは問題ないかなと思います、そうじゃなくて、壁は剥がれて板はめくれて、いわゆる子供たちが怖がると、そして、というような状態だったですよ。これ、ほかの学校と同様にせめて、今の高山台のものは早急にやっていくとして、まずでもこのものは改修してあげなけりゃいけない。国の補助事業もあると思うんですけど、その中でなぜこれ、今まで放置されてきたのかと、なぜ、そこをまず1点お聞かせいただけますか。

○教育部長 トイレにつきましては、大規模改修のときに併せて整備させていただくという予定でこれまで工事を行っておりませんでした。

○川田 裕 かわいそう過ぎますよね、あれね。だから、早急にこれ、トイレは改修いただきたいんですが、これ、トイレ改修の事業に対する国の補助申請はもうやっていたるんですかね。これ、確認を取ってないんで分からないんですが、その詳細について教えてくださいませんか。

○教育部長 トイレにつきましては、来年度、再来年度、2か年にかけて工事をさせていただきたいと考えております。そして、今国のほうに補助の計画のほうを提出させていただいて

ているところでございます。

#### 「スポーツ公園、買収済みの用地の有効活用について」

○川田 裕 今現在、ただ土地の状況で、先日もスポーツ公園を見に行ってきましたけども、非常に広大な土地で自然の豊かないいところであると、寝かせておくのはもったいないし言葉が出てこないんですよ。これ、今現在、昨日もいろいろ、今回の広報に出された観正山のスポーツでソフトボールは駄目なんだ、何々は駄目なんだ、要らんことを広報に書くから昨日僕のところに電話が殺到しとったわけですよ。それで、全部説明させてもらってたわけですが、今現在子供たちも運動する場所とかがないわけですよ。だから、あれだけの土地も買収してやってるんであれば先行して、本来の目的から外れたらまた本設計のときにまた修正して戻せばいいわけなんで、そういった先行的に使えるということは有効的な使い方だと思んですけども、その点について考え方をお示してください。

○都市創造部長 現在用地取得している場所は、造成工事が完了していない箇所や将来自然の森で残す箇所の用地でございます。今すぐに少年スポーツ等の先行活用を行うことは難しい状況です。ただし、さらなる用地取得及び造成工事が進み、安全が確保できる箇所での先行活用については前向きに検討していきたいというふうに考えております。

○川田 裕 高齢者の健康施策ということで、これ、昔から案はあったんですけども、スポーツ公園がなかなか進まないものですから全然表には出てきてなかったわけですが、いわゆるパークゴルフ場ですね、高齢者。これ、昔いろいろ聞きに回った、この声が一番多かったんですよ。そして、皆さんおっしゃるのが、広陵町にはパークゴルフ場があるんだと、今提携してるから同じ料金では使わせてもらえるけども、なぜ我々の市のほうが大きいのに香芝市は何にもないじゃないかと、その声をたくさん聞くわけですよ。市民が少しでも優越感を持てるような施設も必要ですし、箱物、箱物って要らんものばかりつくるのはよろしくないでしょうけども、特にこれ、後で出てくるプールについても、横辺りにそういったもの、土地がありますから、つくってあげれば、そこでは運動いただくと、帰りはプールに入って帰っていただくということで、可能ですよね。だから、そういったものも進めていただくようにやっていただきたいんですけど、いかがですか。

○都市創造部長 先ほどと同じ答弁になるんですけども、今用地買収してる場所が造成工事が完了していないっていうような場所もございまして、今すぐ整備することは難しいとは考えておりますが、今後用地取得を行った上、一団の用地取得と造成工事が完了すれば前向きに検討また研究させていただきたいというふうに考えております。

○川田 裕 スポーツ公園内の市民プール、これのオープンの時期の詳細についてということで聞きたいんですが、これ、プールの計画を立てたのは職員さんとか我々とかで一緒につくったわけですよ。これ、オリンピックの年までに完成させようということで決定しまして、市長から、当時の市長から委嘱を受けてたんで、それでオーケー、ゴーが出て、そしてこの計画をやりますよということで進めた。今現在もう閉鎖されてますけど、国道 165 号

線の横の市民プールも今閉鎖してますよね。あそここちらが完成する時期と、コロナは当時なかったんで除いていただきたいんですが、隙間なくやろうと、子供たちがで使う施設ですんでそれをやろうということで立ててたんですが、ずるずるずるずるこれも遅れて、今現在でもまだこれ、今年詳細設計をやっているという段階ですよ。なぜここまで遅れたんですか。それ、行政都合でしょ。議会と約束して決めてたことをなぜ行政都合で勝手にそんな変えられるんですか、その説明をお願いします。

**○都市創造部長** スポーツ公園のプールにつきましては、当初の計画でPFIのほうでプールの施設をつくるというふうな状況になっておりました。ただし、コロナ等の関係もありまして民間企業の参加も見えない状況にありましたので、PFIから従来手法に変えさせていただいて、その部分で遅れが生じたと感じております。

**○川田 裕** それ、答弁、虚偽ですよ。そんなことないでしょ、PFIでやるなんか決めてないですから。それは勝手に市がPFIでやろうとかと決めてたん違うんですか。だって、目標設定はオリンピックの年までに完成させますということだったんでしょ。あとは手法の話じゃないですか。だけど、自分たちで勝手に決めて、それもうまくいかなかったわけですよ。だったら、責任はどこにあるわけですか。その目的を度外視して方法論にこだわったためにこれ、これだけ遅れてるんじゃないんですか。白鳳台に行きましても、今私たちが生きている間につくってくれないとという本当にも悲しそうな顔をして、よくお話もお聞きしますよ。行政都合で勝手に変えないでくださいよ。いついつまでにやるって言ったら、それは正当な理由があれば分かりますけど、自分たちがやった落ち度によって遅れたということ、そんなもんは理由にならないじゃないですか。その責任はどのように考えておられるんですか、部長に言ってもそこは答えようがないんでしょうけど。今後そのような、ころころころ行政都合で変えるんだったら議会に諮ってくださいよ、そのたびに。だって、議会の決めたことを執行するのがあなたたちの仕事であって、あなたたちは決定者じゃ、決議機関じゃないじゃないですか。そこを、感覚がちょっと香芝市はおかしくなってると思いますので、そこをちゃんと正してください。お願いしておきます。

そして、このプール、これを完成するのはじゃあいつですか。

**○都市創造部長** プールの施設の整備につきましては、昨年度基本設計させていただいて、今年度実施設計をする予定をさせていただいております。令和5年度から工事に着手し、令和7年度には一部、駐車場は開業ができないと思いますが、プール自体の開業を目指して今鋭意努力させていただいているところでございます。

#### 「防災会議が数年にわたって開催されていない職務怠慢の疑義について」

**○川田 裕** これは大変なことだと思うんですよ。これ、防災関係、これ、市民の、災害対策基本法からも来てますけれども、今トラフ、南海トラフの地震がもう近々この30年以内に来る確率が非常に高いと言われてて、どこの市町村においてもこういった災害関係の施策の取組って急がれてるわけですね。それは、国土強靱化っていうこともあって、地震が来

たときに潰れる、すぐ潰れる確率を低くしたいというのがまず1つと、それと速やかに復興ができるということで、しなやかな政策にできる、取り組めるという、この2本立てで今来てるわけです、国の施策もその方向で今やってるわけですけどね。だけど、これ、調べてみましたら、**香芝市防災会議において、これ、いつから開かれてないんですか。**

○**危機管理監兼生活安全部長** 防災会議につきましては、地域防災計画の改正、平成26年度今のところ最終改正になってますので、平成26年度から今現在開かれていないといった状況です。

○**川田 裕** これ、職務怠慢じゃないんですか。市長、これ、何で、市長になってから今2年ですよ。ちょうど2年ぐらいですよ。なぜ開かないんですか。議員もなさってたでしょ、その前に。これは許し難いことですよ。これ、防災会議条例っていうのは、これ、今条例まで設けられてて、これ、読んでください。所掌事務っていうのが、項目がありまして、「防災会議は、次に掲げる事務をつかさどる。」、その第1号、ここには地域防災計画を作成してその実施を推進するっていうこと、これが事務分掌されてるんですよ。そして、2号に「市の地域に係る防災に関する重要事項を審議する」ということ、これ、いろんなほか、細かいところはいろいろ、「会長は、会務を総理する。」と、これ、市長が担当することになってるわけです、会長は。ということは、これはひとつの部署と見て事務分掌されてるわけですから、ここで全部物事を意思決定していかなければならないわけでしょ。なぜやってないんですか、市長。

○**福岡市長** 議員ご指摘のように、先ほど奥山危機管理監から答えたとおり、平成26年を最後に会議を行っておりません。そして、議員もご指摘っていうか、ご存じのように、さきの一般質問で清川議員から同じ質問があつて、令和4年そして令和5年に改正を行っていくというふうな答弁をさせていただいております。そこで開く予定ではございましたが、なぜしてないかということに対しましては反省すべきことだと思っております。

○**川田 裕** これ、後でもまた聞こうと思ってたんですけど、今も答弁がありましたけど、防災計画を改正していこうと、地域防災計画のことですよ、やっていこうと。これ、開催も、会議を開催してないんですよ。その決定権っていうのはこの防災会議にあるわけでしょ。法令等の定めではそうなってますよね。誰が決めてるんですか。それ、職権濫用をやってるんですか、誰かが。勝手に決めれるんですか、事務分掌されてないところのものを。この間も、よく考えたら、委員会でぺらぺらぺらぺら地域防災計画を変更していくようなことが出てたけど、よくよく見てみたら、これ、会議も開かれていないのに、平成26年から開かれてないでしょ。それ、誰が決めれるんですか。この会議で決めることですよ、そういったことも。行政がぶっ飛んでないですか、これ。おかしいんじゃないですか。これ、僕は今新人に研修で教えるんで、行政法を教えますけど、こんなもんは基本中の基本じゃないんですか。なぜそんなことになるんですか。

細かいことはこれ、たくさん山ほどやることがあるんで、やっていきますけれども、これもこの間もう法律の整備等々、僕はこれ、全部自分でやりましたよ。どういった法律の変遷

があって、その予防関係や応急関係、何百通りぐらい、これ、ありますよ。これ、全部整理して、危機管理監、渡しましたね、これ。提供してるわけですよ、こちらも防災はずっと詳しくやってきましたんでね。だけど、あまりにもずさんじゃないですか。これ、市民の命に関わってる問題で、今地震が来たら香芝はどうするんですか。今から考えますわってやるんですか。市長、権限を持ってるんでしょ。権限を持ってたら仕事してくださいよ。前から聞こうと思ってたけど、毎日市長室にいてて何をしてはるんですか。こっちは議会としてでも走りまくって、あっちへ行ったりこっちへ行ったりして、調査もやったり、理事者に聞きに行ったりとか、いろんなことをやってるんですよ。何をやっておられるんですか、こんな重要なこともほったらかして。その証拠に、もう時間が1分半しかありませんけど、経営会議のその資料を取ったら、市長になられてから経営会議を開かれてますよね。その題目の資料請求をかけたんですよ。重要事項が何もないじゃないですか。何をやってるんですか。経営会議というたら重要事項をやる場所ですよ。話にならないですよ、これ。だから、こんな、ここで大きな声を出して言うても意味がないから、やってください。また、委員会でこれ、全部聞いていきます。

これ、防災会議も、これ、私も委員に、条例では書いてあるんだけど、まだ委嘱すら来てないんですよ。委任状か何か要るんでしょ。委任か、委嘱か、要りますよね。あれもまだ来てない。今メンバーも決まっていなかったらその提案すらできる場所がないわけですよ。早くしてくださいよ、それ。そんな、1週間あったらできるでしょ。やってください。だから、そういったあと細かいところの詰めはまた委員会で続きをやりま。それだけ最後、市長、答弁してください。この責任についてどう考えておられるのか、最後答弁いただいて終わります。

○福岡市長 今ご指摘いただいたことを真摯に受け止め、計画の修正など、検討すべきところをしっかりと検討していきたいと思います。